

番組審議会

第5回 BS よしもと番組審議会

■開催年月日：2023年 1月30日（月）

■開催場所：BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員（敬称略）7名全員出席 ＊あいうえお順

大原鶴美（プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

＊リモート参加

川上和久（麗澤大学教授）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ（ナミねえ）（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）＊リモート参加

山田秀雄（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

■議題

1. 開会の辞（審議委員長）
2. 開会の挨拶（稲垣社長）
3. 放送・編成関連のご報告（放送不体裁のご報告、年末年始特別編成、1月改編説明）
4. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）
5. 番組審議：対象番組「Y-Tube 大賞」
 - 1月25日（水）放送#73 MC スパイク
 - 12月20日（火）放送#52 MC 藤崎マーケット
 - 12月12日（月）放送#46 MC シシガシラ
6. 閉会の挨拶（金田取締役）
7. 閉会の辞（審議委員長）
8. 事務局からの連絡

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より、2か月後には開局1周年を迎え、4月に民放連への準会員としての加盟を目指して承認待ちの段階であることを報告し、審議会をスタートした。

■審議の経過の概要等

1. 放送・編成関連の報告

技術局長より、以下について12月21日に「チーキーズ a GoGo!」放送中に発生した、放送機材の故障による放送不具合の経緯と内容、対応について報告を行った。

審議委員からは、この種の不具合の頻度、民放連加盟に向けての支障の有無、機材全般の

メンテナンスと再発防止策についての質問があり、技術局長から機材交換により再発防止の対応が完了したことを説明し、全審議委員に理解された。

また、審議委員からは、発生時の視聴者からの問い合わせ状況についての質問もあり、担当者より、番組内や SNS での情報発信により大きな混乱なく対応できたことも説明し、理解された。

続いて、取締役兼編成・制作局長より以下の説明を行い、確認された。

① 本年 1 月より、前編成・制作局長の退職に伴い、金田取締役が局長兼務となる旨を報告。

② 年末年始特別編成の特徴と下記の番組についての編成意図を説明し、確認された。

- ・年またぎ 24 時間特別企画「ワレワレハワラワレタイ」を放送
- ・年始もオモロく！「よしもと新喜劇お正月スペシャル！」を放送
- ・「ハイサイ！うた自慢まち自慢 2022 沖縄大会」を放送

③ 1 月改編について、以下の 3 番組の放送を開始したことを紹介した。

- ・「お茶とおっさん」毎週（土）23 時 15 分～放送開始

松本人志と高須光聖、坪田信貴ら、おっさんが喫茶店でお茶する番組

- ・「エンタメ未来戦略(仮)」毎週（土）24 時 00 分～放送開始

森三中・黒沢かずこと、ワーナーミュージック・ジャパンのエグゼクティブ・チーフプロデューサー増井健仁が MC を務めるエンターテインメントの未来を考えるバラエティ番組。

- ・「ショッピングチャンネル」毎週（月）～（金）23 時～、（土）～（日）15 時～放送開始

「ショッピングチャンネル」の通販番組を月曜日から日曜日まで毎日放送。

審議委員からは、「お茶とおっさん」の番組内容、「チーキーズ a GoGo！」の近況、最近の人気番組についての質問があり、金田取締役より、「ブラマヨ小杉の走れ！こすっちょ」「笑い飯哲夫のおもしろ社寺めぐり」が好評であること、「チーキーズ a GoGo！」については担当チーフ・プロデューサーより、番組で紹介された各地域の起業が進行していることをそれぞれ説明、理解された。

2. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より 10 月～12 月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に理解された。

また、一部の審議委員からは、問い合わせを寄せた視聴者の特徴として、20 代～30 代の女性が多かったというデータの説明を受け、女性向けの番組へのポテンシャルや、

「ワシんとこ・ポスト」内の企画の継続による視聴者定着についての意見があり、今後の参考とすることになった。

3. 番組審議

対象番組「Y-Tube 大賞」12月20日、12月21日、1月25日放送回

初めに、制作を担当した吉本興業株式会社 執行役員 コンテンツ事業本部長、番組チーフ・プロデューサー両名から説明を行い、続いて審議委員長による進行により、各審議委員から寄せられた質問、意見にチーフ・プロデューサーから回答を行う形式で番組審議を進行した。

各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・今や重要なコンテンツである YouTube 動画を利用し、メディアの垣根を超えた、画期的な良いチャレンジを行っている姿勢が感じられる。

今後も、BS ならではのチャレンジに試行錯誤して挑んで欲しい。

- ・数ある YouTube 動画の中で、どれを見たら良いかへのガイドとしての番組、という企画自体は良い。また若者の嗜好動向もわかって興味深く視聴できるので、視聴回数の少ない動画も意図的に紹介するのはどうか。

- ・そもそも YouTube という本来興味のある動画を選んで視聴するメディアを不特定多数に向けて視聴してもらうため、完成度が高い動画をセレクトした上で、例えば、MC が視聴再生回数を紹介する、芸人の動画を途中で止めてコメントするなど、サポーター、プロモーターとしての役割を明確に打ち出し、付加価値をつけるのはどうか。

- ・BS よしもとのコンセプトである地域創生に紐づくように、住みます芸人の動画を選ぶ等、地域を意識した要素も盛り込み、コンセプトを明確に位置付け打ち出してはどうか。

- ・各 MC のトークの長さや動画の長さのバランスを統一し、テンポよく動画を紹介するとより見やすいのではないか。

- ・テーマを表示するテロップのレイアウト、YouTube 動画と MC のコメントの音声の被りについて、より視聴しやすくなるように配慮してはどうか。

- ・番組タイトルのロゴの活用、出演芸人の Twitter 活用などで、番組を全員でサポートするような体制を組み、盛り上げて欲しい。

- ・使用動画の権利処理などコンプライアンスには細心の注意を払って欲しい。

これらの意見に対し、番組チーフ・プロデューサーより以下のコメントを回答し、審議委員に理解された。

- ・数ある吉本芸人の YouTube チャンネルの中から、まだ視聴回数が少ないコンテンツを紹介するのも企画の 1 つであり、関心の薄いものも含めた幅広い動画の視聴機会を増やすことを目的とし、完成度の差があっても、MC 芸人のツッコミにより興味が持たれることが見込まれる動画を選んでいる。

- ・地域創生への取り組みについての意識は薄かったので、そこは強化してゆきたい。

- ・トーク部分と動画視聴の長さの比率については、敢えて固定化していなかったもので、今後

は意識してゆきたい。

- ・使用する動画の選択も、トークで面白くなるものをより意識して選ぶように強化したい。
- ・テロップの表示についても、より伝わりやすくなるように改善してゆきたい。

最後に次回の開催時期を確認後、金田取締役による閉会の挨拶を受け、審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2023年2月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

山田秀雄（副委員長／山田・尾崎法律事務所 弁護士）

大原鶴美（プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ（ナミねえ）（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

以上